

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号 215

発生場所	廊下	精神・意識障害の有無	リスク D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	段差	発生内容の分類 転倒	

### 発生内容

転倒

### 概要

入院患者 68才胃癌 入院してから1週間の早朝5時、廊下から大きな物音がし看護師が廊下を見ると、仰向けで倒れている患者を発見する。患者の横には点滴棒も倒れていた。廊下と廊下の境目の少しの段差（銀色の部分）に点滴スタンドがひっかかり、それと同時に患者自分の足も滑ってしまっ転んだとのこと。夜23時頃にハルシオン1錠を内服していたが、4時ラウンド時は不明言動や歩行時のふらつきも見られなかった。

### 要因

・廊下に小さな段差があり、点滴スタンドの滑車とそのわずかな溝にはまってしまった。 ・眠剤の内服や寝起きであることから突発的な状況に対する（転倒の）防御ができなかった。

### 対策

・患者の状態や薬剤の効果も踏まえて、転倒リスクが高い事を説明し、歩行する際にはナースコールしてもらう様に説明する。 廊下の溝に関しては対策はしていない。

### 参照